

# 支えあい通信

## 『住んで良かった里小牧』をめざして ～木曾川町連区・里小牧区の取組紹介～

今回は、木曾川町連区長（里小牧区長）の佐塚さんに、地域で進められている取り組みについてお話を伺いました。



### 公民館が子どもの安心できる居場所に

里小牧区では、宇夫須奈公民館<sup>うぶすな</sup>を放課後の子どもたちの居場所として開放しています。公民館内には、図書館の除籍本や遊び道具、ピアノが備えられており、遊びや勉強、読書など、それぞれの過ごし方で思い思いの時間を過ごしています。



取材当日も保護者とお子さんが訪れており、保護者の方からは「地域に子どもと気軽に来られる場所があるのは本当に助かります」との声が聞かれました。



### 誕生祝い金で新しい命を歓迎

里小牧区では、新しく生まれたお子さんに3,000円の誕生祝い金をお渡ししています。

「地域で生まれてきてくれてありがとう」という思いを込め、区民みんなで子どもの誕生を祝う取り組みで、スローガンである『住んで良かった里小牧』を実感してもらえる活動の一つとなっています。



里小牧区では「住んで良かった里小牧」を目指して、地域の方が子どもたちを大切に見守っていらっしゃる事がよく分かりました。また、今回掲載した内容以外にも、さまざまな団体が公民館を活動の場としたり、公園で音楽祭を開催したり、地域の人々が気軽に集まって交流できる場づくりを進めています。今後もどのような活動に発展していくのか楽しみです！